令和５年４月４日

令和５年度　学校経営方針

新島村立新島中学校
校長　　川元　泰史

１　学校経営理念

公立中学校の使命は、生徒の自立を促すこと、その自立した生徒同士が協力し合って、より良い社会を築いていけるよう、そのための力を育むことである。本校においては、コロナ禍の厳しい状況下であっても、将来、生徒がふるさと新島を誇りに思い、日本社会の一員としてより良い人間関係を築き、新しい社会の在り方を創造し、豊かな人生が送れることを目指す。

２　目指す学校像

○　生徒が毎日通いたくなる学校
○　保護者が安心して通わせられる学校
○　地域が誇りにできる学校
○　教職員が働きたくなる学校

３　目指す生徒像（学校の教育目標、育成する資質・能力）

〇教育目標　　「明るく、正しく、強く生きよう。」
一、進んで学習する。（学びに向かう力と人間性）
一、よく考えて行動する。（豊かな心と正しい判断力）
一、たくましい心と体を作る。（困難を乗り越える力）

４　目指す教師像

○　教科指導に優れた教師
○　生徒理解に優れた教師
○　生徒・保護者・地域から信頼される教師
○　組織的な学校運営に参画できる教師

５　中長期的目標と方策

（１）　確かな学力の定着・向上。学びに向かう力と人間性を育成するとともに、ＩＣＴ機器を活用し、主体的・対話的で深い学びを実現する。
（２）　豊かな心をもち、思いやりのある生徒の育成。「命の大切さ」を最優先とし、正しい判断力に基づいて行動できるよう、特別の教科　道徳における授業をはじめ、教育活動全体を通して人権教育を推進する。
（３）　心と体の健康教育。体力づくりの場を整え、生徒の意欲を高めるとともに、食育の推進、安全に関する指導の充実等について、組織的、計画的な指導をすることで、心身の健康増進を図

る。

（４） 地域に開かれた教育課程。生徒及び地域の実態を把握するとともに、学校の教育課程を地域に発信することにより、家庭、地域、学校が一体となって生徒の成長を確かなものにする。

（５） 生徒一人一人を大切にする生活指導。日常的に生徒理解に努め、指導体制の充実を図り、生徒一人一人を大切にした教育活動を推進する。また、集団生活における基本的な生活習慣の確立や、家庭との連携における学習習慣の確立を図り、自主的に考え行動できる態度や、主体的に学習に取り組む態度を育てる。

（６） 危機管理への対応、安全指導の徹底。学校施設の安全管理とともに、災害等の危機管理の徹底と、教育活動全般における安全に関する意識の醸成と安全指導の徹底を図る。

（７） 個に応じた特別支援教育の充実。特別な支援を要する生徒に対して効果的な指導を行うために、保護者や専門機関等との連携を図るとともに、校内委員会や特別支援教育コーディネーターを中心に組織的に特別支援教育を推進する。

（８） 組織体として機能する教職員集団。教職員が一丸となった組織運営を確立し、全教職員が学校運営に参画する。

（９） 研究・研修の充実。校内研究による授業研究や研修を充実させ、生徒の指導の充実を図る。

（１０） 家庭・地域との連携。ＨＰやブログ、学校だより等により家庭・地域へ情報発信を行うとともに、地域運営学校への移行の検討・準備を進める。

（１１） 教育公務員としての自覚と誇り。効率的な職務遂行を意識することにより、時間外勤務時間の削減に努めるとともに、服務事故防止に努め、教職員一人一人が保護者・地域からの信頼を得られるようにする。

６　令和５年度の重点的な取組

前述の中長期的目標を達成するために、今年度においては、以下の項目の内容を重点的な取り組みとして行う。

ア　学習指導（楽しくわかりやすい授業、基礎的・基本的な学力の定着、確かな学力の向上）

① 年間指導計画・評価計画に基づいた指導と評価の一体化の推進（週案への記載、評価の適正化）

② 生徒が主体的に取り組む授業の構築（教材の工夫、授業における導入の工夫等）

③ 生徒の思考力・判断力・表現力等の指導の充実（言語活動の充実等）

④ 毎授業における「目標」の明記と「振り返り」の充実（週案への記載、板書の工夫）

⑤ 地域の特性を生かした学習活動の検討・展開（各教科等における地域の教材化）

⑥ 教材研究の充実とＩＣＴ機器を活用した授業の工夫（授業方法の工夫、オンライン授業の充実）

⑦ 振り返り学習、繰り返し学習の充実（カテ学等の取組、英検、数検、漢検の取組）

⑧ 体力向上の取組（新中タイムでの運動量の確保や様々な取組）

⑨ 数学・英語では指導法の工夫改善を図り、少人数での指導の推進

⑩ よりよく生きるための基礎となる道徳性の育成（特別の教科　道徳における授業の充実）

⑪ 生徒自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成（総合的な学習の時間の充実）

⑫ 生徒の個に応じた支援の充実（特別支援教育の充実）

イ　生活指導・進路指導（一人一人の心に寄り添い、中学卒業後の進路希望の実現）

① 挨拶、時間、言葉遣い、身だしなみ等の基本的生活習慣の確立（日々の活動、あいさつ運動、全校朝礼、生徒朝礼等）
② いじめの未然防止に努め、校内委員会を中心とした早期対応・早期解決（組織的ないじめ対応）
③ 人権教育を基底とした、心を耕す道徳教育の充実（全教員による道徳授業の実践）
④ ふれあい週間等による全校体制での教育相談の充実（ふれあい面談等の各学期開催）
⑤ 不登校支援として、個の状況に対応した登校様式の提供（別室登校、あいさつ登校等）
⑥ 生徒理解と報告・連絡・相談の徹底（早期発見・早期対応）
⑦ 新島村連携型一貫教育により「保・小・中・高」の連続した生活指導・進路指導
⑧ 新島村キャリアパスポート「夢を拓く」の充実と進路指導の充実

ウ　特別活動・その他（進んで取り組み、責任をもってやり遂げる活動）

① 互いの存在を認め、高めあう集団づくり（学級活動の充実）
② 自発的、自治的活動を通して主権者意識の育成（生徒会活動の充実）
③ 生徒同士の所属感や連帯感を育み、学校生活の充実と向上（学校行事の精選と充実）
④ 部活動ガイドラインを遵守した部活動の運営（地域移行を踏まえた今後の部活動の在り方の検討）
⑤ 地震や火災等における危機回避能力の育成（避難訓練・安全指導の充実）

エ　学校運営（全教職員が参画する学校運営）

① 教職員が一丸となった組織運営の確立（企画委員会、職員会議、分掌部会、学年会等）
② 主体的に学ぶ態度の育成を目指した校内研究の充実
③ 各分掌組織の円滑化（分掌職務の円滑な遂行、報告・連絡・相談の徹底）
④ 安全・安心な学校づくりの取組（安全点検の実施、迅速な校内修繕、村への修繕要望）
⑤ 全教職員が共通理解に基づいた個に応じた支援を行うための特別支援教育の充実（校内研修会、特別支援委員会、特別支援コーディネーターによる各関係機関との連携等）
⑥ 保護者・地域への教育情報の適切な発信（保護者会や学校だより、学級通信、ＨＰ・ブログ等の充実）
⑦ 地域行事への積極的な参加（保護者・地域との関係の構築）

オ　研修・その他

① 校内研究による授業研究や研修（校内研究授業、授業力向上研修等）
② 東京都教職員研修センター等で開催される校外研修会等への積極的参加
③ 東京教師道場や教育研究員への積極的参加及び校内、他校への還元
④ 教育公務員としてのコンプライアンスの徹底（服務事故防止研修等）
⑤ 教職員の仕事の効率化等ライフ・ワークバランスの推進
⑥ 地域運営学校への移行の検討・準備